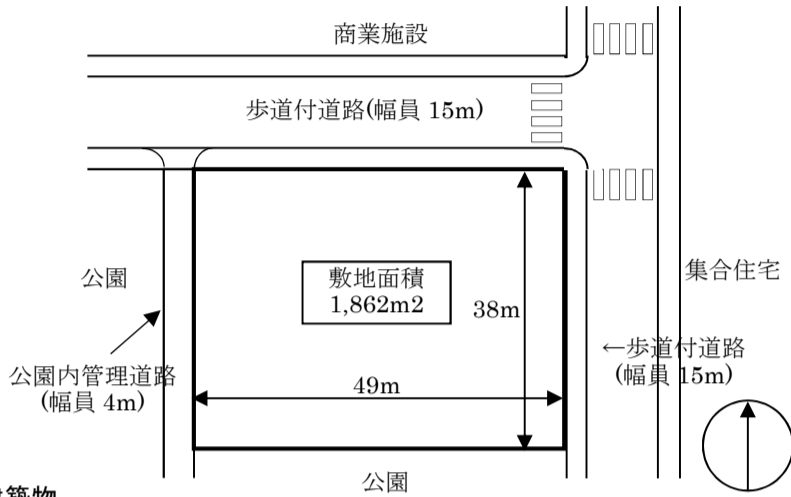


I. 設計条件

この課題は、平成 29 年度製図試験受験生の自己分析を行うために、ある地方都市において、子育て世代を支援するために保育所部門を併設するコミュニティセンターを計画するものである。敷地は公園の一角を予定しており、公園の景観や空間を活かした施設計画とすること、また、誰にでも使いやすいユニバーサルデザインを採用することが求められている。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
公園内管理道路については、施設許可車のみ通行できるものとする。
- (2) 敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。歩道の切り開きは、1 箇所当たり 6m までできるものとする。
- (3) 敷地は、第二種住居地域及び防火地域にしてされている。また、建ぺい率の限度は 80% (特定行政庁が指定した角地における加算を含む)、容積率の限度は 300% である。
- (4) 地質調査で支持地盤は平均 GL-6m、地下水位は平均 GL-3m となっている。
- (5) 日影及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- (1) 構造、階数等
地上3階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- (2) 床面積の合計
床面積の合計は、2,700m²以上、3,100m²以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段、屋外テラス、光庭は、床面積に算入しないものとする。エレベーターシャフトは容積率には算入しないものとする。
- (3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
保育所部門	乳児・ほふく室	・もく浴室、調乳室を含む。	約 50m ²
	2-3 歳児室	・室内から使える手洗い、便所等を設ける。	約 50m ²
	4-5 歳児室	・室内から使える手洗い、便所等を設ける。	約 50m ²
	プレイルーム	・デッキスペースと一体的に利用できるよう工夫する	約 130m ²
	調理室	・外部から出入口を設ける。	約 60m ²
	職員室	・玄関に面して受付カウンターを設けると共に、屋外遊戯場に面するように配慮する。	適宜
	玄関	・保育所部門専用とし、乳幼児の送り迎えを行う。 ・ゲタ箱・ベビーカー置き場を設ける。	
共用部門 / 他	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・3 層吹抜けとする。	適宜
	カフェ	・テーブル、椅子、カウンターを設ける。 ・室形状の長手方向でイベント広場に面する。	約 80m ²
	事務管理室	・エントランスホールに面して案内カウンターを設ける。 ・6 人程度の事務スペース及び応接コーナーを設ける。	適宜
コミュニティ部門	トレーニング室	・天井高さ 6m 以上の無柱空間とする。 ・専用屋上デッキスペースに面する。	約 250m ²
	ロッカー室	・男女別に設ける。シャワー設備も設ける。	各約 50m ²
	調理実習室	・準備室を設ける。 ・調理台 (1m x 3m) 4 台を設ける。	適宜
	講師控室	・トレーニング室近傍に設ける。	
	ワークルーム A/B	・ヨガや体操まで利用できる多目的な室とする。 ・A/B 合計で約 150m ² とする。	計約 150m ²
	集会室	・1 室で 90 名程度が集会に利用できるものとする。 ・2 室分割しても利用できるよう可動間仕切りを設ける。	適宜
	ラウンジ	・集会室のホワイエとしても利用できるようにする。	適宜
	会議室 A/B/C	・様々な大きさの室を用意し、合計で約 140m ² となるよう A/B/C の 3 室設ける。	計約 140m ²
	設備スペース	・その他、各自が採用した設備計画に応じて、室外機置場等を計画する。	適宜

・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

3. その他の施設等

- (1) 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として 1 台分、一般用として 1 台分、管理・サービス用として 3 台分を設ける。その他は公園内にある駐車場を利用する。
- (2) 保育所の施設として、直径 5m の円を内包する屋外遊戯場 (180m² 以上とし、庇下部、屋外テラス、足洗い場、手洗い場、ゲタ箱、植栽等を含む) を設ける。加えて、公園に直接出入り出来る扉を設ける。また、遊具を 3 点以上計画する。
- (3) 駐輪場は、平面駐輪とし、10 台分以上 (2.0m x 0.5m) を設ける。
- (4) トレーニング室から、気軽に休憩できる屋上デッキスペース (面積適宜) を設ける。
- (5) 地域の催し物が開けるようなイベント広場 (面積約 200m² 庇上部含まず) を設ける。
- (6) プレイルームから直接出入りできるデッキスペース (面積適宜) を設ける。
- (7) (1)~(6) の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物はバリアフリー、セキュリティに配慮し、主要な室については、自然採光、通風及び日射遮蔽に配慮し、かつユニバーサルデザインを取り入れた計画とする。
 - ② 各部門について適切にゾーニングした計画とするとともに、明快な動線計画とし、かつ避難等にも配慮する。
 - ③ 敷地の周辺環境に配慮すると共に環境負荷低減に配慮する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
 - ② 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画する。
 - ③ 部材の断面寸法を適切に計画する。
 - ④ 天井高さの高い室については、天井落下対策に配慮する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - ② 防災用を兼ねて、受水槽 (W x D x H = 2 x 4 x 2) を設ける。
 - ③ エレベーター等を適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙 I の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ニ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ホ. 断面図の切断位置 ヘ. 要求室の床面積 ト. 上足となる範囲の明示
(2) 2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口・公園との出入口 ロ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ. 駐輪場(台数を明示する。) ニ. 通路、植栽等 ホ. 屋外遊戯場及び遊具・イベント広場(面積を明示する。)
(3) 3階平面図 1/200	③ 2階平面図及び3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離、及び重複区間の距離
(3) 断面図 1/200	④ 3階平面図には、屋根の形状(軒先・棟等)がある場合、破線で示す。 ① 切断位置は、トレーニング室を含み建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、基礎部分を除き、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

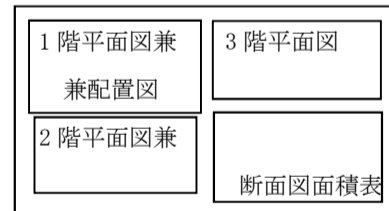
2. 面積表(答案用紙 I に記入)

(1) 地上 1~3 階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率、容積率及びその計算式についても記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙 II に記入)

設問については、答案用紙 II 参照の上、記述する。

4. 図面レイアウト(製図試験.com 課題のみの指示で本試験では解答用紙 I に記載)



5. 自己分析表:

■自己分析課題の位置づけ
この課題は、製図試験受験生の現時点での自己分析を行うためのものです。何時間かかってもよいので納得した解答案を作成してください。またこの課題については、原則エスキース、解答図面、要点、及び分析表を一式で提出するように心がけてください。
3月末までのこの課題の内容については共有しつつ学んでいくペースとします。また東京大阪以外での講習会については3月末まではこの課題で講習会を行います。加えて、添削生・添削お申込者にはオンラインでの解説も行います。

■添削について
受講生・添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所までお送り下さい。メ切は1月30日(月)消印有効。遅れても必ず添削しますが、ペース配分の目標としてください。添削は約1週間程度でご返却します。
〒554-0012 大阪市此花区西九条 2-7-8-3F 製図試験.com 事務局
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。



試験場	受験番号	氏名

製図試験.com 自己分析課題 答案用紙 II-3. 計画の要点等

(1) 建築計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築物へのアプローチについて、その位置とした理由及び動線計画において考慮したこと

.....

.....

.....

② 誰にでも使いやすいユニバーサルデザインとして考慮したこと(3点以上)

.....

.....

.....

③ 建築物のセキュリティについて工夫した点

.....

.....

.....

④ 建築物の動線計画 上考慮したこと、ゾーニング 上考慮したこと

.....

.....

.....

⑤ 公園の景観や空間を活かした施設計画とする上で考慮したこと

.....

.....

.....

(2) 構造計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築物に採用した構造種別、架橋形式及びスパン割りとこれらを採用した理由

.....

.....

.....

② トレーニング室の構造について留意した点

.....

.....

.....

③ 選定した基礎とその理由

.....

.....

.....

(3) 設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 空調方式及び採用した熱源とその理由

.....

.....

.....

② もく浴室の給湯設備について、採用した方式とその理由

.....

.....

.....

(4) 建築環境負荷低減について、各計画において採用したこと

① 建築計画

.....

.....

.....

② 設備計画

.....

.....

.....

自己分析表

自己分析課題におけるあなたの自己評価について、下記の表にA～Eを記してください。

A:理解し実行している B:理解しているが実行できていない C:理解していない D:意識したことがない E:その他

NO	設 問	自己評価	製図試験.com 備考欄
■読解			
01	問題文の読む順番		
02	初見で出題された問題文への対策		
03	敷地の読み方及び考え方		
04	建築物のボリュームの見方(積上図)		
05	最大建築面積の計算方法		
06	スパン決定要因とタイピングの理解		
07	動線図(機能図)の作成		
08	読解まとめの作成(ポイントの抽出)		
■エスキース			
11	部門配置の決定(ゾーニング)		
12	コア配置の検討(コアゾーニング)		
13	ゾーニング		
■作図			
21	作図 3 時間		
■ミスチェック			
31	ミスチェックと方法①読解時		
32	ミスチェックと方法②エスキース時		
33	ミスチェックと方法③作図時		
34	ミスチェックと方法④最終チェック時		
35	時間管理		
36	本試験当日のメンタル対策		
■計画の要点			
41	日本語表現方法		
42	建築計画(動線・ゾーニング・景観・シアタリー)等		
43	構造関連(大空間のPC・小梁の掛け方)の理解		
44	基礎選定(独立・布・ベタ基礎及び抗等)の理解		
45	設備関連(設備方式と配管・スペース)の理解		
46	建築環境負荷低減の理解		

■自身で振り返るh28の敗因・その他質問等

■製図試験.comの総合評価・今後の指針

ここにはハンドルネームのみ記載し、氏名等の個人情報(裏面に記載してください)。

ハンドルネーム: